

2021 年産米概算金下落に伴う
農家経済への影響緩和に関する緊急意見書

郡山市農業委員会

米価については、近年、人口減などによる消費の減少に加え、新型コロナウイルス禍による業務需要の低迷により、2021年産米価格の低下が懸念されてきたところではありますが、先般、JA全農福島県本部が決定した2021年産米の概算金については、2020年産に比べ約3千円の下落となり、本市稲作農家は極めて大きな衝撃を受けました。

概算金とはいえ、生産コストを下回る水準にあり、稲作農家に深刻な影響を及ぼす状況であることから、次年度以降の再生産を可能とする施策が重要であります。

さらに、生産意欲の減退による作付け放棄が拡大し、耕作放棄地の大幅な増加が懸念されます。

ついでには、本市農業振興のため、本市農業者の代表機関として意見をまとめましたので、下記の事項について施策の立案や予算措置に反映いただきたく、農業委員会等に関する法律第38条に基づき、緊急に意見を提出します。

記

- 1 次年度の再生産に向け、2022年産用種子代への助成を行うこと
- 2 関係団体・業界等との連携により、「あさか舞」の消費拡大に一層努めること

令和3年10月1日

郡山市長 品川 万里 様

郡山市農業委員会
会長 佐久間 俊一